



神奈川県立 公文書館だより

第50号

編集発行 神奈川県立公文書館

〒241-0815 横浜市旭区中尾1-6-1

電話 045 (364) 4456

FAX 045 (364) 4459

https://archives.pref.kanagawa.jp/

休館日:月曜日、祝日(月曜日と重なる場合は翌日)、年末年始(12月28日から1月4日)

古文書を読んでみませんか？

— 神奈川県立公文書館「古文書講座」のご紹介 —

はじめに

「古文書」と聞くと、どのようなイメージを持たれるでしょうか？「難しい」、「堅苦しい文書」、そのような印象を持たれている方もいらっしゃるかもしれません。

神奈川県立公文書館では、開館当初から「古文書講座」(以前は、「古文書解説講座」という名称で開催)を開催しています。毎年定員を超える多くのご応募をいただく気の講座です。

ここ数年は、新型コロナウイルスの影響で人数を制限しての開催や中止になることが続いていましたが、令和五年度は、一〇月八日にスタートした入門編第一回を皮切りに、一二月二四日の応用編最終日まで合計九回にわたって、盛況のうちに開催することができました。

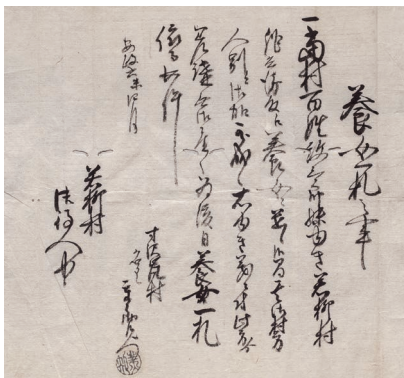
今回は、これから古文書を学ばれる方に向けた「古文書講座入門編」を中心に紹介します。

■ 古文書講座入門編

一〇月八日の入門編初日は、当館の職員が講師を務めました。「江

戸時代の文書を読む前に」というオリジナルの資料を使って、江戸時代の特徴や古文書の仕組み、古文書を読み解くための参考図書を紹介など、基本的な事柄の説明から講義は始まりました。

初めに読み解く史料は、若柳村鈴木家文書の「養女一札之事(よじよいつさつのこと)」(資料ID: 2199450278)です。一文字一文字を丁寧に説明しながら講義は進められ、初めて古文書に触れる方でも「古文書を読む」感覚を掴んでいただけののではないかと思います。一つの文字でも、様々なくずし方があり、「これも同じ字なの？」という声を受講者から上がっていました。



若柳村鈴木家文書
(資料ID: 2199450278)

上が実際に講義で使用した史料になります。史料は、公文書館ホームページに掲載しています。また、詳しい内容をホームページの「刊行物」―「神奈川県立公文書館資料解説集」でも紹介しています。

二日目の講義では、もう少し長い史料を取り上げました。史料は、若柳村鈴木家文書の「差上申一札之事(さしあげもうすいさつのこと)」(資料ID: 2199450335)です。「長兵衛母」を名乗る病人を継送りしますが、病に倒れ、途中で亡くなってしまいます。ですが、双方の村の戸籍にもその病人の名はなく・・・という少しミステリーな要素を含んだ内容で、一文字一文字を読み解くところから少しレベルアップして、史料の身を追っていく内容でした。意外な結末に、「ええっ」という声が上がって、会場にどよめきが起こりました。こちらの史料も、公文書館ホームページに掲載しています(資料解説集にはありませんのでご了承ください)。

三日目は、国際基督教大学助教授の橋田有希子先生を講師に迎えて、「関東大震災一〇〇年:大岡忠相墓所再建関係の史料を読む」という題名で御講義いただきました。

文書の書かれた時代や人物同士の繋がりなど、史料の歴史的背景にまで踏み込んだ内容でした。二日目までとはまた趣向の違った御講義に、受講された方からは「面白かった」、「興味深かった」、「楽しかった」との感想をいただきました。



令和5年度古文書講座入門編の様子

■古文書講座応用編

一二月一〇日から始まった応用編も、初日は当館の職員が務めました。「武蔵・相模国の鷹場と村の営み―神奈川県域の鷹場関係史料を読む―」というテーマの講義でした。

鷹場や鷹狩り自体は、今ではほとんどなじみがありませんが、江戸時代には一般市民の生活にも影響を及ぼしていました。受講された方からは「自分が住んでいる場所に鷹場があったなんて知らなかった」、「鷹場についてはじめて

知ることが多く、興味深かった」との感想をいただきました。

二日目は、伊勢原市文化財審議会の川島敏郎先生を迎えて、「玉餘道人『相州大山順路之記 全』からみた江戸後期の庶民の物見遊山」というテーマで御講義いただきました。

江の島の観光案内のような内容で、受講された方の中には、「大山」や「江の島」を身近に感じられている方も多く、親しみやすい御講義でした。

最終日の一二月二四日は、日本大学の荒船俊太郎先生を迎えて、「貴族院議員たちの戦後」新発見の史料から」というテーマで御講義いただきました。「新発見」という貴重な史料や古文書としては比較的新しい戦後のものであったことから、受講された方からは「初めて聞きました」、「楽しくて読み易かったです」との感想をいただきました。

応用編は時代も内容もバラエティーに富んでおり、古文書という世界の幅広さや奥深さを感じられました。

■おわりに

古文書は一見難しそうに見えますが、実際に読んでみると、外国語の学習のように文法で苦労するこ

ともなく、言葉が頭に入りやすいというメリットもあります。古文書から当時の人々の様子を思い描くのはとても面白いと思います。もうすぐ四月を迎え、新年度が始まります。何か一つ新しいことを始めるのにも良い時期ではないでしょうか。

令和六年度も古文書講座を開催します。(詳細はホームページをご覧ください)多くの皆様と一緒に当館資料をはじめとした古文書を味わうひと時を楽しみにしております。

また、講座をきっかけに、公文書館で古文書を楽しむ方が増えていただけると、この上なく嬉しく思います。

(資料課 清水ありさ)

展示のご案内

◆収蔵資料展示

5月10日から6月30日まで

◆企画展示

7月19日から10月6日まで

◆収蔵資料展示

10月25日から12月22日まで

◆企画展示

令和7年1月24日から3月30日まで

※詳細は後日当館ホームページでお知らせします。

講座のご案内

◆古文書講座入門編(A日程)

5月19日(日)、26日(日)、6月2日(日)(全3回)定員100人

【4月16日まで申込受付】

◆古文書講座入門編(B日程)

6月16日(日)、23日(日)、30日(日)(全3回)定員100人

【4月16日まで申込受付】

◆夏休み親子講座

7月27日(土)、7月28日(日)

各日開催(定員数未定)

◆アーカイブズ講座

11月3日(日)(定員数未定)

◆古文書講座応用編

11月17日(日)、24日(日)

12月1日(日)(全3回)定員100人

※詳細は後日当館ホームページでお知らせします。

公文書館へのアクセス

電車の場合 相鉄線「二俣川駅」下車、二俣川駅北口より徒歩17分
二俣川駅北口より相鉄バス「旭23 運転免許センター循環 二俣川駅北口」行きで「運転免許センター」停留所下車、徒歩3分
車の場合 「保土ヶ谷バイパス」本村インターから6分
※駐車スペースが少ないため、できるだけ公共交通機関をご利用ください。